

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費						
事業名					職員教育訓練等事業費	単位：円					
事業内容	1 市民の信頼と期待に応えうる職員の養成を目的とし、消防学校等教育訓練に派遣することにより、消防業務に係る資格や知識、技術の習得を行う(消防大学校・警防科、消防学校・初任教育、上級幹部、初・中級幹部科、警防科、救急科、救助科等)。			計	消防大学校	1人					
	2 救急救命士の養成、救急業務高度化に係る資格取得及び医学的知識、技術の習得を行う(就業前教育、気管挿管、病院実習等)。				消防学校	11人					
事業内容	3 現場活動に必要な消防資機材を取り扱うことができる職員の養成を目的とし資格取得を行う(小型移動式クレーン運転講習等)。			画	救急救命士						
					養成課程研修	1人					
成果	1 県消防学校教育訓練派遣については、初任教育、救急科、救助科等の派遣により、消防技術等のレベル向上に努めた。			実	就業前教育	1人					
	2 救急救命士養成課程研修1人、就業前研修及び気管挿管認定1人の養成を行い、病院実習は9人が実施し、技術の向上が図られた。				気管挿管認定	1人					
成果	3 消防業務資格については、主任無線従事者、小型移動式クレーン運転資格、予防技術検定資格及びその他資格を取得し、効率的な現場活動の体制づくりが強化された。			績	病院実習	9人					
					消防業務資格取得	3人					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳		
	7,906,000		7,470,308		0		0		0	一般財源	7,470,308

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費						
事業名					装備被服整備費	単位：円					
事業内容	消防活動に必要となる個人装備・被服等について、法令等に基づき適切に貸与し、消防業務の安全管理の維持、規律の保持に努める。			計	夏用活動服	12人					
					採用職員制服・活動服等一式	2人					
事業内容				画	救助服	2人					
					救急服	3人					
成果	新採用者に、制服等一式を貸与した。平成24年度採用者及び救急救命研修者に救急服一式を貸与した。また、夏用活動服を11人分、防火衣を10人に貸与し、災害活動用装備品の充実と出動体制の強化が図られた。			実	防火衣	10人					
					夏用活動服	11人					
成果				績	採用職員制服・活動服等一式	4人					
					救助服	2人					
成果				値	救急服	3人					
					防火衣	10人					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳		
	5,862,000		5,764,300		0		0		0	一般財源	5,764,300

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					救急救助資機材更新整備事業費	単位：円
事業内容	耐用年数を経過した救急救助資機材を計画的に更新整備を図る。遠野消防署高規格救急車(救急1)に搭載している自動体外式除細動器を更新する。			計画値	自動体外式除細動器 1台	
	成果	今回の更新により配属されている3台の高規格救急車(遠野消防署2台、宮守出張所1台)に搭載している自動体外式除細動器の更新が終了した。今回更新した自動体外式除細動器で平成25年9月から平成26年3月までの120件の救急要請に対応した。 また、救助ロープ展張時等に使用する救助器具の簡易型油圧張力計を更新し、救助活動時の安全性の向上を図ることができた。			実績値	自動体外式除細動器 1台 簡易型油圧張力計 1台
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,578,000	4,578,000	0	0	0	4,578,000	

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					防災基盤整備事業費	単位：円
事業内容	旧消防庁舎跡地に地域防災力の強化と安全安心な地域づくりを確保するため、新張地区コミュニティ消防センター建設に合わせ、遠野市消防団新設部の第5分団第6部に消防ポンプ自動車1台を配備する。			計画値	消防ポンプ自動車 1台	
	成果	遠野市消防団新設部の第5分団第6部に消防ポンプ自動車を配備したことにより、地域防災力の強化を図ることができた。今後の災害活動車両として効果が期待される。			実績値	消防ポンプ自動車 1台
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,790,000	20,790,000	6,000,000	14,700,000	0	90,000	

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費				
事業名						消防防災施設等整備事業費	単位：円		
事業内容	1 新張地区コミュニティ消防センター整備 旧消防庁舎跡地に新張地区(松崎町第8区)自治会館と遠野市消防団新設部の第5分団第6部屯所を合築したコミュニティ消防センターを建設し、地域の防災力強化と地区住民の日常生活に、安らぎと快適な居住環境を整備する。			計 画 値	新張地区コミュニティ消防センター建設 1棟				
	2 消火栓設置 消防水利が不足している地域に消火栓を設置し、消防水利の充実強化を図る。 新設 2基 ...綾織町上綾織、宮守町下宮守 移設 2基 ...綾織町新里、宮守町達首部				消火栓設置 新設 2基 移設 2基				
成果	1 新張地区コミュニティ消防センター整備 松崎町第8区の自治会館と遠野市消防団第5分団第6部の消防屯所を合築した新張地区コミュニティ消防センターを建設したことにより、地域の自主防災組織及び消防団と協働し合える防災体制の強化を図ることができた。			実 績 値	新張地区コミュニティ消防センター建設 1棟				
	2 消火栓設置 消火栓の整備は、計画どおりの4基のほか、緊急に移設が必要となった2カ所を整備した。実情にあった整備であり、消防水利の充実強化を図ることができた。 新設 2基 ...綾織町上綾織、宮守町下宮守 移設 4基 ...綾織町新里、宮守町達首部、東上組町、松崎町白岩				消火栓設置 新設 2基 移設 4基				
予算額	決算額	財源内訳				0	54,200,000	4,725,000	5,140,350
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
64,391,000	64,065,350								

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費				
事業名						消防団活性化整備事業費	単位：円		
事業内容	消防団員服制基準により、新入団員及び現任団員への被服等を貸与することにより、団員の意思統一を図る。 消防団員が悪天候活動(水防活動等)時の安全確保のため、雨合羽を貸与し安全確保と活動環境の改善を図る。 雨合羽は3年計画で、全消防団員に貸与する。(3年計画の1年目)			計 画 値	新入団員 20人分				
					雨合羽(現任団員) 300着				
成果	服制基準に沿った被服を消防団員に貸与することで、団員の意識の統一性を図ることができ、災害現場での活動がスムーズにできた。 また、雨合羽を貸与することにより、悪天候活動時の安全確保を図ることができた。			実 績 値	新入団員 49人				
					雨合羽(現任団員) 300着				
予算額	決算額	財源内訳				0	0	4,000,000	1,548,467
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
5,572,000	5,548,467								

09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費			
事業名			消防防災施設等整備事業費（繰越明許費）				単位：円
事業内容	<p>松崎町白岩新張地区に、災害に強い地域を構築するため、一時避難場所や地域の防災拠点機能を有するとともに、平常時は地域の憩いやコミュニケーションの場として親しまれる公園の整備を進める。</p> <p>また、子育て環境にも配慮した安全で安心な公園とすることを目標に、旧消防庁舎跡地周辺の用地確保及び支障物件解体補償を進める。</p> <p>なお、地権者との用地取得及び支障物件解体補償の交渉に時間を要したことから25年度へ繰り越した。</p>			計 画 値	用地取得 1カ所 支障物件解体補償 1カ所		
	成果	<p>(仮称)防災公園整備にかかる用地取得及び支障物件解体補償を行い、平成27年度の整備に向けて計画どおり事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計業務委託 966,000円 ・用地取得 16,484,378円 ・支障物件解体補償 10,102,000円 			実 績 値	用地取得 1カ所 支障物件解体補償 1カ所	
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳				
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
32,000,000	27,552,378		0	0	0	27,552,378	

09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費			
事業名			通信指令装置等管理費（繰越明許費）				単位：円
事業内容	<p>消防救急デジタル無線整備に伴う実施設計を、岩手県及び内陸部に位置する7消防本部と共同で県が一括で業務委託する。</p> <p>内陸4消防本部による指令業務共同化の協議があったことから、新設基地局の再検討が必要となり平成25年度へ繰り越した。</p>			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部及び消防団車両の無線機更新計画の検討 ・電波伝搬調査による基地局建設場所の検討 ・工事契約に伴う仕様書等の作成 		
	成果	<p>岩手県及び内陸部に位置する7消防本部が共同で消防救急デジタル無線整備に伴う実施設計を一括で契約したことにより、契約予算の低減化が図られた。</p>			実 績 値	<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部及び消防団車両の無線機整備の確定 ・基地局建設場所の確定 ・工事契約に伴う仕様書等の作成 	
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳				
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
8,927,000	5,639,000		0	0	0	5,639,000	

09款 消防費		01項 消防費		04目 防災諸費	
事業名 防災対策事業費					単位：円
事業内容	1 市民の安心・安全な生活を確保し、災害に強いまちづくりを構築するため、避難経路や避難場所、災害時の危険箇所などを明記した「遠野市防災マップ」を作製する。(3-1-1 地域支え合い体制づくり事業費で作製) 2 それぞれの地域に見合った防災マップづくりと自主防災活動の活性化のため、プランニングマップを作製する。 3 地域防災拠点となる地区センターに、避難者支援及び非常物品搬送用としてリヤカーを配備する。			計 画 値	遠野市防災マップ配布 (全世帯・関係機関) 11,000部 プランニングマップ配布 90行政区 アルミ製折畳みリヤカー 9地区センター
	成果	1 避難経路や避難場所、災害時の危険箇所などを明記した「遠野市防災マップ」を全戸配布したことで、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識の高揚が図られた。 2 「遠野市防災マップ」を基に、それぞれの地域に見合ったプランニングマップを作製することで、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防災力の強化が図られた。 3 リヤカーを各地区センターに配置したことで、災害時における避難支援の強化が図られた。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,652,000	3,440,585	0	0	1,800,000	1,640,585

09 款 消防費		01 項 消防費		04 目 防災諸費		
事業名		まちまるごと防災事業費				単位：円
事業内容	1 自主防災組織未結成地区への結成促進 2 防火防災講習会、消防フェアを開催し防災意識の高揚を図る。 3 チャレンジ防災スクールを開催し、将来の防災リーダーを育成する。 4 自主防災組織に補助金の活用促進及び防災物品を交付し、地域の防災力強化を図る。 5 応急手当普及員を養成し、救命講習を通じて技術の普及と救命率の向上を図る。			計 画 値	結成率 100% 防火防災講習会参加者 年間30回 400人 消防フェア参加 200人 チャレンジ防災スクール参加 33人 補助金活用組織 90組織 応急手当普及員養成 14人	
	1 地域活動専門員（防災担当）と連携して結成促進を図ったが、結成には至らなかった。今後も全行政区結成に向け、防災基本条例、プランニングマップを活用して結成促進を図る。 2 市内の自主防災組織30組織、及びその他団体等で防火防災講習会等を開催した。また、消防フェアを9月に開催し、救助展示、煙体験、初期消火、放水・消防車両乗車等により市民の防災意識向上を図った。 3 チャレンジ防災スクールに市内11校の小学校から42人が参加し、「災害から身を守る」「日頃からの備え」等を消防体験、非常食体験を通して防災意識の高揚につながった。 4 自主防災組織防災資機材整備事業補助金は60組織が活用し、非常用物品の購入に活用された。さらに各自主防組織に災害活動本部用として、幟、腕章、三角巾を交付し、地域防災力強化を図った。 5 応急手当普及員を8人養成し、救命講習を通じて救命率の向上を図った。 6 小友町中央振興会（小友町第2区）が消防コミュニティ補助事業で防災資機材（発電機、投光器、トランシーバー、水中ポンプ、リヤカー、担架）等を整備し、災害時に備えた。				実 績 値	結成率 95.5% 防火防災講習会参加者 自主防災組織 467人 その他団体等 583人 消防フェア参加 455人 チャレンジ防災スクール参加 42人 補助金活用組織 60組織 応急手当普及員養成 8人
予算額	決算額	財源内訳				
6,082,000	5,113,687	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	2,619,800	2,493,887	